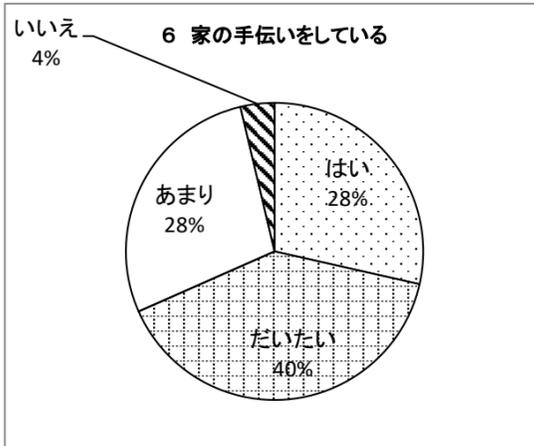
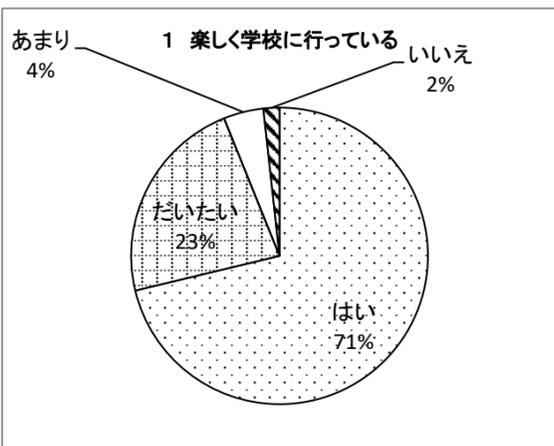


保護者の皆様による「よりよい学校を作るためのアンケート」集計報告

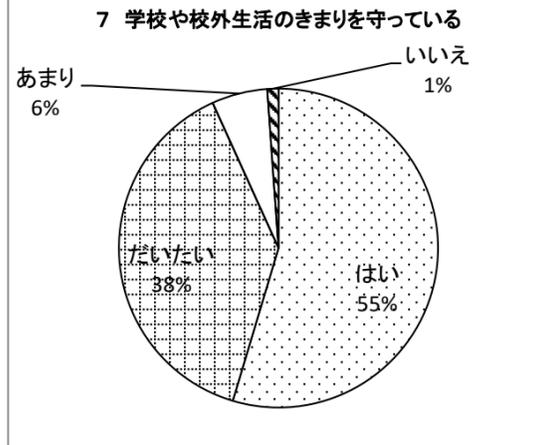
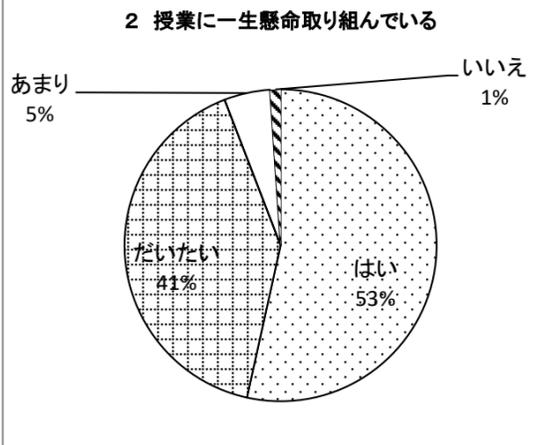
「よりよい学校を作るためのアンケート」へのご回答ありがとうございました。回答していただいた保護者の皆様の結果を集計し、紙面にてご報告します。

「明日も来なくなる学校づくり」をめざし、安心安全な学校にしていくために、「一人ひとりが大切にされ、安心できる居場所となる学級づくり」「互いに認め合い規律ある集団づくり」を重点目標として取り組んでまいりました。1の項目については昨年度とおよそ同じような結果となっておりますが、「あまり・いいえ」の回答が6%となっており、昨年度よりも2%増えています。「いいえ」の回答者は約10人となります。このことを重く受け止め、児童一人ひとりに目を配り心を寄せて、細やかな対応と心がけていきたいと感じております。



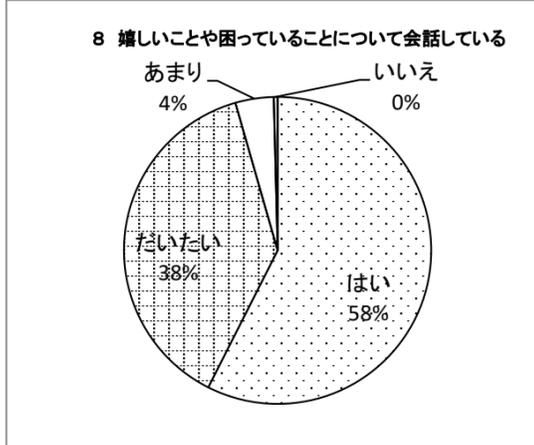
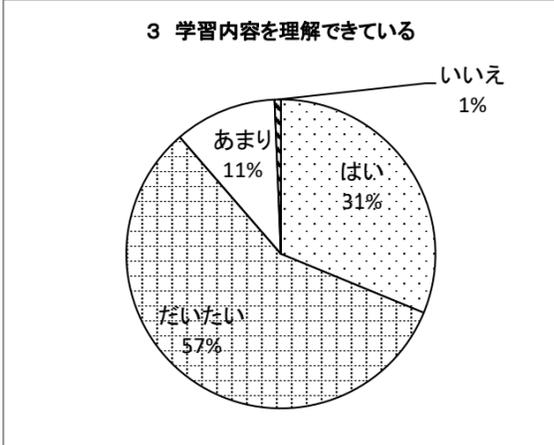
昨年度同様評価の低い項目です。今年度は子どもたちが家庭で過ごす時間が例年以上に多いかと思えます。家族の一員としての自覚をもち、自分ができることに継続して取り組んでいくことは、社会で生きていく力となります。また、自分が誰かの役に立っていると感じることは、自己有用感にもつながります。働くことの爽快感・達成感を味わえる経験を大切にしていきたいです。今年度は家庭学習で「お手伝い」に取り組んでいる学年もあります。家庭と学校の両方で、役割を果たす経験を積み重ねていかれたらと思います。

多くのお子さんが授業に対して意欲的に取り組んでくれていることが分かります。今年度はコロナ禍により制限が多く今までの活動ができない部分がありますが、友と学ぶ楽しさを味わえる授業づくりを工夫してまいりました。今後も自己の高まりを感じられるような授業づくりを進めていきたいと思えます。授業に集中して主体的に学ぶためには生活のリズムが大きく関わってきますので、日々の生活や家庭学習につきまして、今後ともご家庭の協力をお願いいたします。



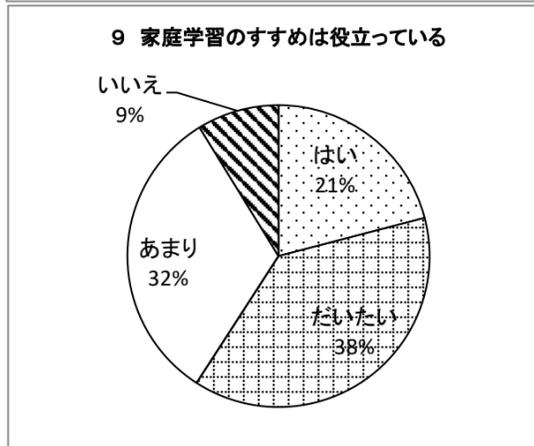
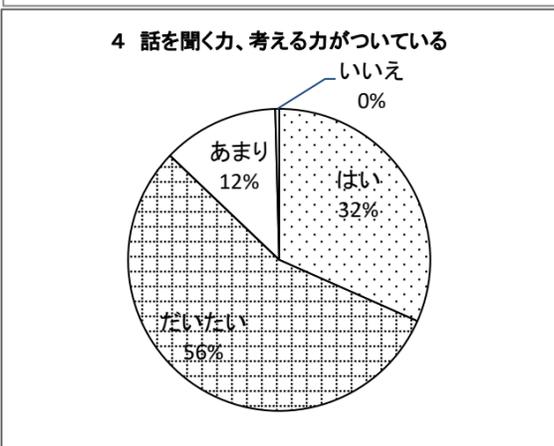
この項目での「はい・だいたい」の評価者は、保護者の皆様が93%、児童が90%となっており、おおむねきまりは守られているようです。家庭や学校等、身近な大人が見守る中では、自制心が働き、落ち着いた生活ができます。しかし、校外での生活は拘束が少なく自由な時間であるため、各自に委ねられる部分が非常に大きい状況です。自分自身で判断し行動する校外での生活こそ真の力が発揮される場と言えるかもしれません。きまりの大切さやよさを学級でも考えていきたいと思えます。

この項目につきましても昨年度とおよそ同じような結果となっております。しかし昨年度は「いいえ」が「0」でしたが今年度は「1%」となっております。落ち着いた学習環境を整えるとともに、一人ひとりの学習状況を理解することの必要性を感じております。「あまり・いいえ」と回答された皆さんのつまずきを見極め、丁寧に対応してまいります。また「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、職員同士が学び合う機会を設けていきたいと思えます。



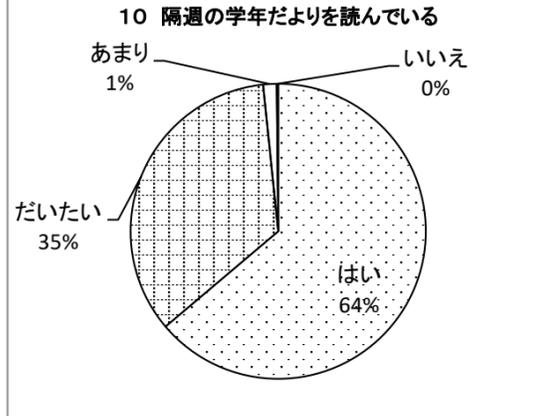
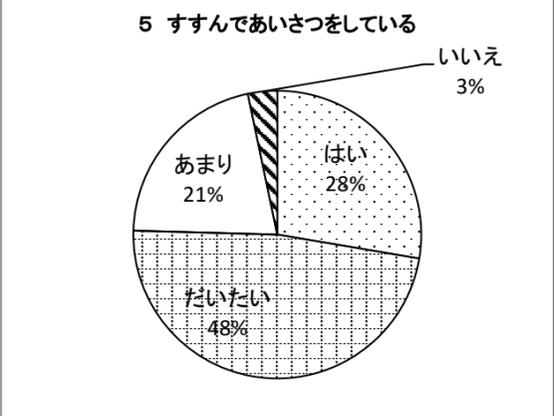
この項目は「はい・だいたい」の回答が96%と大変高く、保護者の皆様がお子さんの話を大切に聞いてくださっていることが分かります。大人にとって些細なことと感じられることでも、子どもたちにとっては、抱えきれない大きなことである場合もあります。自分の話をきちんと聞いてくれる人がすぐそばにいてくれることで、安心して生活できるものです。子どもたちの思いを受け止める存在として、学校職員も一人ひとりに声をかけ、寄り添っていききたいと思えます。

「自ら考え、友と協働し合って問題を解決する」姿を目指して、取り組んでまいりました。自ら課題をもち課題を追究していく力こそが、これからの時代を生き抜くための力だと考えております。学びの過程で友と考えを交流し深め合うことも大切にしてきました。その中で子どもたちは、自分と友との考え方の違いや類似点を見極めていきます。聞きたくない、考えたくない動機付けが出发点となるような授業改善に努めていきたいと思えます。また、子ども達が「自ら学んでいる」と実感できる授業を考えたいと思えます。



昨年度に引き続き、もっとも評価の低い項目です。家庭学習の重要性が問われている昨今、この「家庭学習のすすめ」が手引きとして有効に活用されずに過ぎてしまいました。きちんとした説明や、年度途中での見直し、ふり返りなどが必要だったと思えます。家庭学習が学校での学習とつながるようなあり方を検討していきたいと思えます。ご家庭の皆様にもご協力をお願いいたします。

今年度は「あいさつの響き合う学校づくり」を職員一同心がけてまいりました。児童は自分から進んであいさつをしているという意識が高いようですが、保護者の皆様や職員の評価は、昨年度同様少し低い結果となっております。全校集会や学年集会、学級でのふり返りを行った後は、自分たちのあいさつをよりよいものに広げていこうという気持ちももっていますので、継続してあいさつの心地よさを見つめさせ、視野を広げていられるようにしたいと思えます。



多くの保護者の皆様に読んでいただいていることに感謝申し上げます。各学年、学校での活動や学習、児童の様子などをお伝えするとともに、教師の願いなどもこめて発行しております。また予定やお願いなども掲載しております。今後も子どもたちの生き生きとした姿、担任の思い、そして正確な情報をお届けできるよう、努力していきたいと思えます。

今回の保護者の皆様の評価の他に、子どもたちのアンケート結果集計と職員による自己評価、及び学校運営委員会の方々による評価を公表いたします。これからも、よりよい神川小学校となるよう、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。